

成功する人は本を読む

私を動かした
この一冊

BOOK

困難に直面した時、気づきを
くれた言葉。「明日より今を」



蟹江 脩礼氏

(株)すずや
代表取締役

1975年生まれ。東京都出身。23歳の時に、神奈川・溝の口に1号店となる『すずや』本店を出店。現在、神奈川・川崎市内を中心にドミナント展開。人情味があり地元で愛される店づくりを目指し、地域に密着した居酒屋を4店舗経営する。特に「地産地消」の取り組みに注力し、「売り」である地場野菜は市内の契約農家まで毎日足を運んで自身で仕入れを行なうなど、「生産者→飲食店→消費者」と直結した安心感のある食材の提供に努めている。地元でファンを掴みながら、長年商売を続ける「居酒屋のおやじ」を永遠のテーマに日々奮闘中。

人生という現場においては誰しも紆余曲折があり、挫けそうになったり、辛い状況から逃げ出したくなったりという経験があるのではないかと思います。そんな時に自分を奮起させる格言、座右の銘を心の中に刻み、「苦難を乗り越えた」という方はたくさんいるでしょう。私自身もその一人であり、そんな時に出会ったのが本書です。短編の一話を一日と見立て、一年間分の教えが解説とともに書かれており、困難に直面した時に読むと心に響く一冊となるのではと思います。

中村天風先生の教えは、日々身近に起こる出来事への考え方について、元氣と勇気がわいてくる教えと、その逆に勢い余って暴走してしまいうような時にブレーキをかけ、戒めとなる教えが数多く書かれています。以前、起業した頃の私も若くやる気に満ち溢れ、それなりの実績も伴い「さあ、次は何をやるか」という事業意欲に旺盛でした。1年後、3年後、5年後…という人生計画も立て、スタッフたちにも夢を語り、自分の将来に期待が膨らむ日々。もちろん、その考えはいまもあり、自分なりには良い考え方なのではと感じていますが(笑)。

しかし、人生そんな甘いものではなく、ことごとく計画が崩れてしまう時期がありました。それでも「強引に突っ走ろう!」くらいの勢いでやっていました。が、その時に戒めとなったのは本書にある『明日より今を』という言葉です。夢や目標を立て計画的に行動する事、それはそれですごく大事。しかし、それよりも大事なのは「たった今を正しく生きるにはどうすればいいだろう」という事を忘れてはいけないというのがこの教えです。まさしくその当時の自分の心に響く言葉でした。いま振り返ればその頃の会社基盤はいまとは比べ物にならない状況で、横風吹けばよろけてしまう感じ。『明日より今を』という言葉に出会ってから、その瞬間を大事に考えるようになり、夢や目標を成し遂げる為にいますべきことは何か、いまの状態はどうなのか、と常に自問自答しながら経営しています。いままでも、そしてきっとこれから、いろんな場面において「気づき」がある大切な一冊です。



『中村天風 一日一話
元氣と勇気がわいてくる
哲人の教え366話』
財団法人天風会／著
PHP研究所 1155円

中村天風氏は、波乱万丈な人生の末に独自の実践哲学「心身統一法」を確立。氏の書物の中から印象的な教えを抜粋してまとめた一冊で、一話200文字程度に集約されている。

※この連載では、読書家の経営者やシェフの方4名が、毎月リレー形式で、感銘を受けた本、商売や経営のあり方、生き方に影響を与えた本を紹介しています。